

第 1 講演

神戸市立医療センター中央市民病院における臨床情報AI戦略 ～ 真の病院DXにむけて～



兵庫県立大学 大学院 情報科学研究科
教授

神戸市立医療センター中央市民病院
臨床研究推進センター 顧問

神戸大学 生命・医学系保健学域
特命教授

竹村 匡正 氏

病院情報システムは病院の業務効率化に貢献している一方、診療業務を前提としたシステムであるため、データの利活用を行うことが困難である場合が多いのが現状である。神戸市立医療センター中央市民病院は、全国的にも病院情報システムのデータの二次利用について取り組まれてきた病院であり、経営指標等の様々なデータ利活用がなされてきた。

一方で、データサイエンスの発展に伴い機械学習や生成AI等の利活用が可能になり、医療分野への適用が期待されている。ところが、先述したように病院情報システムに適用可能な病院はそれほど多くない。その中で、本院では臨床研究推進センターに臨床AI研究部を設置した上で、病院情報システムにおいて機械学習基盤の適用が可能な仕組みを構築した。これによって、リアルワールドデータを用いた安全な臨床研究のための利活用が可能になるとともに、病院業務のDXにも繋がることが期待される。